

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者様の試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 異型狭心症とリポタンパク質関連ホスホリパーゼ A2 遺伝子 Val279Phe 遺伝子異常との関連性についての検討

研究の目的

異型狭心症は安静時に出現し心電図上 ST 上昇を伴う胸痛発作でニトログリセリンが著効する疾患として 1959 年 Prinzmetal によって呼称され、後に冠攣縮性狭心症による貫血性虚血をきたしたものとわかりました。

今回の目的はサンガー法を用いて異型狭心症患者におけるリポタンパク質関連ホスホリパーゼ A2 遺伝子 Val279Phe 遺伝子異常の頻度を解析することにより、同疾患においてこの遺伝子異常と関連があるか評価します。そして、それらの頻度を岩木プロジェクトの健常者 872 名の頻度と比較、男女差があるかも評価します。

今回の研究では直接的な因果関係を示すことはできませんが、将来的に遺伝子診断につながる可能性があり、有用と考えます。

研究実施期間： 実施許可日 ~ 2026 年 3 月 31 日

対象となる方： 弘前大学医学部附属病院循環腎臓内科で冠攣縮性狭心症と診断された患者様を対象とします。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

今回の臨床研究は「臨床試験 エクソーム解析を用いた異型狭心症に関与する遺伝子の網羅的解析とその発現と機能の検討(承認番号 2024-033)」に参加いただいた患者様から採取した血液を使用いたします。また、患者様の診療記録から採血データや処方、背景などのデータを収集し解析いたします。なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し本研究のための固有の番号を付し行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者様/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者様の試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先

弘前大学医学部附属病院 循環器内科、腎臓内科・澁谷修司 連絡先電話番号 0172 - 39 - 5057